



<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

APRIL 8 2021 NO. 2536

母子の健康月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2536回)
- 2) 卓話 「大阪駅(梅田)の歴史」
井戸 幹雄会員
平尾 彰彦会員

<例会場 天満宮会館>

次回(6月24日)のお知らせ

- 1) 例会 (2537回) 臨時休会により日付訂正

☆☆ 4月度の在籍表彰 ☆☆

27ヵ年 在本 茂 27ヵ年 福原 哲晃
27ヵ年 中川 政照 26ヵ年 大矢 平治
25ヵ年 高田 肇 7ヵ年 平尾 彰彦
4ヵ年 吉村 圭太

(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

いよいよ先週の25日から聖火リレーが始まりました。本日から長野県を走るそうです。聖火リレーをやって、オリンピックもやるんでしょう。また、26日にはプロ野球も始まっています。阪神は、開幕3連勝ということで、毎年これだけで十分な気がしますが、まだ何とか上位の方にいるみたいです。そして、このホテルでは、本日4月1日の新年度を迎え入社式を行う会社も3つほどあるようです。

春を迎えこのように世間が動き出していますが、一方で大阪では「まんぼう」という魚が泳いでいるようで、ちょっと複雑なところですね。先ほど調べたところ、大阪には再来週の4月13日、14日に聖火が来るそうですが、大丈夫なんですか。

蔓延防止措置という宣言が新たにされることになりましたが、来週の移動例会は何とか実施したいと思います。その後については、状況を見守りながら改めて検討したいと考えています。会員の皆様には改めてご連絡させていただきます。

ので、よろしくお願い致します。同時に、先週も申し上げましたが、信用できない場所にはいかないことを徹底いただければと思います。くれぐれも、健康にはご留意いただきますよう改めてお願い申し上げます。

本日は二宮会員のご紹介で山本様に、SDG'sについてお話しいただきます。貴重なお話を伺えると期待しています。何卒よろしくお願い申し上げます。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①4月1日よりロータリーレートが1ドル=110円に変更になります。(3月のレート 1ドル=106円)
- ②「新年度名簿作成についてのご訂正お願い」を本日お配りしております。次年度ロスターの原稿になりますので必ずご確認をお願いいたします。なお、ご訂正のない場合もOKとご記入のうえ必ずご提出をお願いいたします。
- ③「2021-22年度 理事・役員・委員会一覧」を本日お配りしております。
- ④次年度理事・役員・委員長に「2021-22年度活動計画書提出」のお願いをさせて頂いております。4月22日(木)までに必ずご提出をお願いいたします。
- ⑤次週、大阪天満宮での移動例会となります。
- ⑥次々週例会終了後「第4回被選理事会」を開催いたします。本日ご案内させて頂いておりますので関係各位宜しくをお願いいたします。

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	1名	会員総数	44名	4月1日の出席率	72.97%
国内ゲスト	2名	会員出席	27名(37名)	4週間前(3月11日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	18名	メイクアップを含む出席率	84.62%
外国ゲスト	0名	会員欠席	10名	メイクアップ実施会員	2名(欠席者8名)

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

誕生日お祝い ありがとうございます 平尾 彰彦
一般社団法人SDGs推進士業協会理事 山本哲史様
本日の卓話よろしくお願ひいたします。

二宮 彰久

令和3年4月1日 合計金 10,000円

累計金 1,673,000円

☆☆ 先週(4月1日)の卓話 ☆☆

「今注目されているSDGsとは」

一般社団法人SDGs推進士業協会 理事

アズコネクト社会保険労務士事務所 代表者

山本 哲史 様

二宮 彰久 会員紹介

みなさんは「SDGs」をご存知でしょうか? SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。

朝日新聞のSDGs認知度調査(2020.03.26)では、32.9%の人がSDGsを「聞いたことある」という結果が出ています。SDGsは、地球環境といった大きな話題から、企業活動や日常生活といった経済活動、貧困・健康・教育などの社会問題といった様々な分野・活動と密接に関係しています。

4月1日の卓話では、以下の3つのポイントをお話しします。

①SDGsの基本的な知識

- ・SDGsができた背景
- ・17の目標と169ターゲット
- ・SDGsと環境、社会、経済の関係性

②いまSDGsが話題になっている理由

- ・SDGsをとりまく現状
- ・SDGsと経営資源(ヒト、モノ、カネ)

③SDGsの事例

- ・ビジネス事例
- ・社会貢献における事例

SDGsが近年注目を集めた理由の一つとして、SDGsを事業活動に活かすという観点があります。今回の卓話では、SDGsの基本的な知識をご理解頂き、企業活動や日常生活、社会貢献活動に活かすためのポイントをお伝えします。

ぜひ、多くの皆様にSDGsを日々の活動に取り入れて頂く機会になれば幸いです。

母子の健康月間によせて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
簡 仁一(茨木RC)

母子の健康を改善し、5歳未満の幼児の死亡率を減らす。これが、国際ロータリーの母子の健康に関する基本方針です。

ユニセフと世界保健機関(WHO)などの発表によると、5歳未満で命を落とす子供は、2019年に過去最少の水準にまで減少し、1990年の1250万人から520万人に減少したそうです。しかし、その後の新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって、これまでの数十年間に及ぶ取り組みの成果が後退する恐れのあることが明らかになっています。

「女性が感染を恐れて病院での出産を避けると、彼らも新型コロナウイルスの犠牲者になりかねません」「中断した保健システムとサービスを再開するための緊急の投資がなければ、何百万人もの5歳未満の子ども、特に新生児が命を落とす可能性があります」

ユニセフのヘンリエッタ・フォア事務局長は、こう懸念しています。

日本においても、状況は深刻です。厚生労働省が昨年10月に発表した全国の妊娠届の件数は、昨年5～7月には、前年同期を1割超、下回りました。最近、出生数は減少傾向がみられ、2019年に90万人を割り込みましたが、2021年には80万人を切るともいわれています。背景には、コロナ禍で、子どもを望む夫婦の収入が減り、生活の見通しが立たないという現実があるのです。

また、昨年9月の新聞には、一人親の相談を受け付け、食料支援をしているNPO法人が、シングルマザー約1800人を対象に実施した調査結果が掲載されていました。母子家庭の18.2パーセントが食事回数を減らし、14.8パーセントが1回の食事を減らしているという過酷な現状が明らかになったそうです。一方、コロナ禍で、非正規雇用の女性の多くが仕事を失うなどして経済・生活問題が深刻化し、女性の自殺者が増えているという衝撃的な事実も報道されています。

すべての母子が命を落とすことなく、安心して暮らすことができるように、そして、子どもたちが伸び伸びと成長できるように、私たちは、持続可能な支援を続けていかなければなりません。

ロータリー財団の「地区補助金」「グローバル補助金」を活用して、母子の健康を守ることができる取り組みをしていきましょう。

(2020-21年度 RI2660地区ガバナー月信4月号 より)

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

松花堂弁当